

琵琶湖での水環境改善ノウハウを海外展開 ミャンマーのODA事業モデルの深耕拡大

1959年に滋賀県で一般廃棄物収集運搬処理事業を創業。1960年代の琵琶湖総合開発で汚染された琵琶湖の水質負荷の低減など水環境改善を図る滋賀県の浄化槽導入促進の流れに乗り、多くの浄化槽技術者を輩出した。

1970年代から下水道の普及に伴い浄化槽事業が徐々に下火になる中、浄化槽技術者をベトナムやミャンマーで活かさないか検討を開始、現在では傘下に7つのグループ会社を擁し、グループ従業員数1,000名を超える規模にまで拡大した

● 所在地 滋賀県草津市若竹町9-24
● 電話/FAX 077-564-2274 / 077-565-2325
● URL <http://www.daigo-sangyou.com/>
● 代表者 代表取締役 権田 五雄

● 設立 1959年
● 資本金 1,000万円
● 従業員数 200人



需要獲得

JICA中小企業海外展開支援事業のミャンマーでの展開

ミャンマーでのODA案件化の中で、ヤンゴン市における浄化槽に関する条例を市と共同で作り上げ施行にこぎつけた。100%出資の維持管理サービス会社、合併の製造販売会社を設立。続いて第三セクター方式の汚泥管理社団法人設立を検討中である。

また、ミャンマーでは「浄化槽管理士」の認定制度がないことに着目、教育訓練機関の設置、運営とテキスト作成・販売による収益を将来の事業の柱に位置づける。なお、これらミャンマーで創出した成功事例を、その後アジアの周辺国へ水平展開する予定。



ヤンゴンでの浄化槽維持管理研修

琵琶湖の水環境改善で培ったノウハウを共同事業として海外へ

琵琶湖南部の草津・栗東・守山・野洲の4市において、琵琶湖の水環境改善に貢献してきた浄化槽の維持管理ノウハウを持つ6社が「湖南六社会」を形成し、国内外の様々な水環境改善事業に参加しており、同社はその代表窓口となっている。

「損得」よりも「善悪」を最優先する企業でありたいと考え、近江商人の「三方よし」に従い、奉仕の精神を以って社会とお客様に貢献することを経営理念としている。



地元小学生へのゴミ収集車による環境学習

現地調達比率向上に向けた積極的な新規ビジネス展開

ミャンマーへ浄化槽を輸出している既存の大手日系メーカーは、ハードとしての浄化槽のみのビジネスしか関心がない中、同社はヤンゴン市水衛生局職員と協力し、汚泥管理用のホース、ホースとホースをつなぐジョイント金具、塩ビパイプ等の現地調達や現地企業との合併によるFPR製浄化槽(タンク)の現地生産の準備を進めている。また、JICA民間連携ボランティア制度を使い、ヤンゴン市水衛生局へのグループ会社社員の派遣も検討している。



浄化槽の材質となるFRPを作業員に説明

サービス